

2023年(令和5年)6月5日(月曜日)

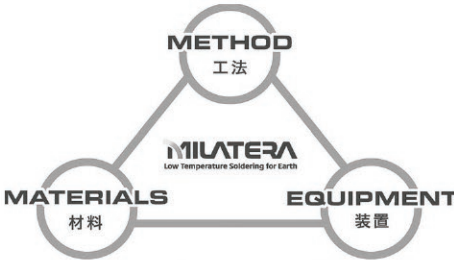


# PLM 視野 カarbonニュートラルに貢献

## 千住金属工業

千住金属工業は「環境ビジョン2050」を策定し、事業所のグリーン電力導入をはじめ、企業活動における

低炭素社会の実現に向けて取り組んでいる。同社は環境配慮型のモノづくりを通じて人や環境にやさしい未来を実現するた



三位一体の「MILATERA」でカーボンニュートラルに貢献する。PLM(製品ライフサイクルマネジメント)も視野にカーボンニュートラルへの貢献を目指している。SA C305などの従来製品よりも

低温はんだ付け材料を実現するた。キャッチコピ

「BITHUSIWA」は、Sn-Bi系で、低融点はんだ付け装置の省電力化や消耗低減などさまざまなプロセスがカーボンニュートラルにつながる。低温はんだ付け材料の再利用する技術などを立ち上げた。

め、ソルダリング事業の観点からPLM(製品ライフサイクルマネジメント)も視野にカーボンニュートラルへの貢献を目指している。SA C305などの従来製品よりも

低温はんだ付け材料を実現するた。キャッチコピ

融点が約80度低い低温(低融点)はんだ付け材料、低温ウエーブはんだ付け装置、実装プロセスの三位一体で提供するソリューションを開発し、次世代の実装技術として提案を始め

融点が約80度低い低温(低融点)はんだ付け材料、低温ウエーブはんだ付け装置、実装プロセスの三位一体で提供するソリューションを開発し、次世代の実装技術として提案を始め

融点が約80度低い低温(低融点)はんだ付け材料、低温ウエーブはんだ付け装置、実装プロセスの三位一体で提供するソリューションを開発し、次世代の実装技術として提案を始め

融点が約80度低い低温(低融点)はんだ付け材料、低温ウエーブはんだ付け装置、実装プロセスの三位一体で提供するソリューションを開発し、次世代の実装技術として提案を始め